

1/28 氷上の太公望、熱き戦い

町観光協会主催の第33回おけと湖氷上釣り大会が1月28日に開催され、町内外から77人が参加し、釣果を競いました。2時間で釣ったワカサギの数を競う「ワカサギ大漁賞」の一般の部で、町内在住の平大輔さんが246匹で優勝を飾りました。中学生以下の部、ワカサギ以外の釣った魚で最重量を競う大物賞、女性トップの釣女賞は、いずれも十勝管内の参加者が占めました。



2/2 未来に繋がる贈り物、地場産食材提供

きたみらい農業協同組合と農協名「みらい」を冠して連携している青森県の津軽みらい農業協同組合の両役員が2月2日、役場を訪れ、小学校、中学校、保育園の給食食材に役立ててほしいと、タマネギ17箱、馬铃薯スノーマーチ16箱、リンゴ6箱を贈呈しました。この取り組みは、今年で9回目。今後、地場産の食材を使った給食が子ども達に提供されます。



2/6 和楽器のリズムに手拍子

2月6日、芸術鑑賞事業として津軽三味線と和太鼓の4人組「和心ブラザーズ」の置戸中学校公演が開催されました。会場には、20人あまりの地域の方も訪れ、生徒と共にソーラン節などの民謡やクラシック、現代的なオリジナル曲の演奏に合わせ、手拍子をしながら楽しみました。そのほか数人の生徒が三味線や和太鼓の演奏体験を行い、和楽器に親しむひとときを過ごしました。



2/7 住宅金融支援機構との協定締結式

住宅金融支援機構と町が「フラット35子育て支援型及び置戸町森と住まいの支援事業に係わる相互協力に関する協定」を締結しました。この協定は、町と住宅金融支援機構が連携し、「フラット35」を利用して住宅ローンを借入する場合に町が認めた者に限り、当初5年間の借入金利を通常金利から年0.25%引き下げて金利負担を軽減し、子育て世代の住宅新築促進を図るものです。

